

環境 リサイクル

カラスの巣作りを防止しましょう

カラスは3月頃から巣を作り始め、4～7月にかけての繁殖期に卵を産み、幼鳥を育てます。この時期に人が巣に近づくと、卵や幼鳥を守るため、威かやく攻撃をすることがあります。

身近に巣を作られると、カラスの被害が増加する原因のひとつになります。

●巣が作られるのを防ぐには

- ・葉の茂った木や、巣が安定する枝ぶりの木は、見通しをよくするために3本に分かれた枝を1本切るなどする。
- ・針金ハンガーは巣作りの材料になるため、ベランダ等に放置しない。
- ・ごみ出し場所に生ごみを出すときは、カラスのえさにならないように、ふた付き容器の使用や、防鳥ネットでごみ袋を覆う等、生ごみを荒らされない工夫をする。

●親カラスの威かやく攻撃がある場合には

- ・巣の近くで立ち止まらず、巣を避けて通る。
- ・う回路がない場合は帽子をかぶるか、傘をさして通る。

●巣の撤去・幼鳥の捕獲を行います(条件あり)



カラスが巣や幼鳥を守るために、通行人等に対して激しい威かやく攻撃等の被害が発生する恐れのある場合に限り、原因となる巣の撤去(民有地)、幼鳥の捕獲を行いますので、ご相談ください。
※営巣場所が高層ビルの屋上などで高所作業が伴う場合は、対応できないことがあります。その場合は建物所有者または管理者の責任で撤去していただくことになります。

▷問合せ 環境課

TEL (5246) 1283
ごみ対策は台東清掃事務所
TEL (3876) 5771

福祉 (高齢・障害等)

ストマ用装具(蓄便袋・蓄尿袋・紙おむつ)給付券の更新申請を受け付けます

4～9月分の申請を3月下旬から受け付けます。

▷対象 区内在住でストマ用装具を使用している方

▷費用 4年度の区民税所得割額に応じて

自己負担額あり(非課税世帯は無料)
※障害者紙おむつ購入補助券の申請は4月から受け付けます。

▷申請方法 身体障害者手帳を下記問合せ先へ持参(申請書の郵送・電子申請可)

▷問合せ 障害福祉課(区役所2階⑩番)
TEL (5246) 1201

ころばぬ先の健康体操 サポーター募集

区独自の「ころばぬ先の健康体操」を教え広める体操ボランティアを募集しています。

どこでも・だれでもできる体操です。体操指導が未経験という方でも大丈夫です。

▷申込み・問合せ 介護予防・地域支援課
TEL (5246) 1295



簡単にできる運動や健康情報のDVDを配布しています

問合せ 介護予防・地域支援課 TEL (5246) 1295

ご希望の方は、上記または、お近くの地域包括支援センターへお問合せください。

新着 「あなたの外出応援! 尿もれ対策」

トイレのお悩みで外出を控えてしまうなんて経験はありませんか?尿もれを予防して、外出を楽しみましょう!

※そのほか健康体操やお口の健康などについてのDVDも配布しています。



YouTube台東区公式チャンネルでも映像を公開しています!

「あなたの外出応援!尿もれ対策」



発達障害を知っていますか

問合せ 松が谷福祉会館 TEL (3842) 2673

発達障害とは

「発達障害者支援法」では、発達障害は「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するもの」と定義されています。見た目には障害が分かりにくく、周囲から気付かれないため誤解を受けやすいので、本人が戸惑いや生活のしづらさを感じている場合も少なくありません。

原因は未だ明らかにされていませんが、親の育て方や家庭環境によって引き起こされるものではなく、先天性の脳機能障害と考えられています。

発達障害のある人は特別な存在ではなく、障害の早期発見と適切な支援、周囲の皆さんの正しい理解があれば、個性を伸ばし、自分の特性と付き合いながら生活していくことができます。

発達障害の種類

発達障害は、特性によって主に以下の3つに分類されます。それぞれの特性が重なり合うことも多く、人によっても、特性の現れ方はさまざまです。

●自閉スペクトラム症 (ASD)

言葉の発達が遅れたり、集団の活動に入れなかったりします。知的な能力に遅れがなくても、相手の表情から気持ちを察することや、場に合った行動や会話が苦手なタイプもあります。興味の対象に対して高い能力を発揮できることもあります。



●注意欠如多動症 (ADHD)

注意や衝動をコントロールすることや、じっとしていることが苦手です。落ちつきなく動き回る、人の話を

最後まで聞けないなど、集団生活への適応が難しいことがあります。

●学習障害 (LD)

例えば、耳で聞く(聴覚)、目で見る(視覚)などの情報処理や、細かい手先のコントロールが苦手なため、文字を読む・書く・聞く・計算するなどの学習がうまくいかないことがあります。



発達障害の特徴

同じ発達障害でも個性や発達状況、年齢、環境などにより、行動の特徴が異なります。

●例えば、幼児期には

・言葉を覚えておしゃべりはするが、会話は苦手

- ・車や電車などの大好きなおもちゃではよく遊ぶが、他の物には興味を持ちにくい
- ・公園で元気よく動き回るが、順番が守れず、落ち着いてられない
- ・ひとり遊びはできるが、皆と一緒に遊ばず、体操も嫌がる

●例えば、学童期には

- ・家ではおとなしいが、学校で授業中に騒いでしまう
- ・何回注意されても、同じ間違いを繰り返す
- ・その場の雰囲気や理解できず、不相应な言動をする
- ・やりたいことを制止されたとき、度々かんしゃくを起こす

●例えば、成人期には

- ・指示された意図が分からず、人間関係がうまくいかない
- ・仕事や家事の段取りが苦手
- ・急な予定やルールの変更が苦手

身近な相談窓口

子供の発達・療育についての相談は	松が谷福祉会館(こども療育) TEL (3842) 2673
健診や育児・健康・発達に関する相談、医師・専門家への相談は	台東保健所保健サービス課 TEL (3847) 9497 浅草保健相談センター TEL (3844) 8172
子供の教育上のさまざまな悩みに関する相談は	教育支援館(教育相談) TEL (5246) 5855
発達に心配のある子供の就園・就学の相談は	学務課特別支援学級担当 TEL (5246) 1416 4月1日(土)から TEL (5246) 5838
育児の不安や悩みなど子育て全般の相談は	日本堤子ども家庭支援センター TEL (5824) 2571 台東子ども家庭支援センター TEL (3834) 4497 寿子ども家庭支援センター TEL (3841) 4631
障害福祉サービスについては	障害福祉課 TEL (5246) 1202
成人期の発達障害に関する相談は	台東保健所保健予防課 TEL (3847) 9405

※保育園・幼稚園・こども園・児童館でも育児・子供の成長・発達の相談を受け付けています。必要に応じて専門機関と連携して対応します。

発達に心配のある方へ

詳しくは、右記二次元コードからご覧ください。

